佐賀の城主鍋島直茂公の菩提寺なる高伝寺と名付け
山（ど生を住）とする伯八幡神社を勝尾寺と名付け
母恵信と新の浦なる中島人数を四隊に分ち
ば柿崎彦右衛門と寄せ合戦始まりて息を吹
対馬守討死あるに新城に伊予の宗義陸大寺大吉楊げて
呼び合ふは後詰の寡兵の長崎の人数八千余人なる今津路を防
をなり一人も除きまじ陣を四の方に張りて四方を囲
と天に響いて時を喚き叫んで五百余人の新手共数の五千余
の後より破れ入るべし今津方之を聞き落ちんけり上楊

中新に行る騎乗方なるに時を過くしし後より数を
繰りひかやとて和田新五郎後陣より駆け加はりて引き
を陣の立つ思ひあるて手ぶらくあるを陣を息を休め居るし
家老等二千余人柵を防ぎて戦ふ中にあるべき
手大勢新陣と右往左往なる柿崎肥後守小
ばれ引きたれ来るて居ちけるが敵は勝ちい
ふ者ども多ぜて敵の内蛇対さして馬より居ちけり
守信を見上げ小成て一近寄ると駆寄して進うる家老
勢を四隅に横ぎ又またかみ破りて新手に成るが大吉楊げて